

作成日：2022 年 12 月 25 日

研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

乳癌における臨床的諸因子と予後に関する後方視的研究

1．研究の対象および研究対象期間

2010年4月から2027年12月までの間に、当院で乳癌と診断され、治療ないし経過観察がなされた方

2．研究目的・方法

【目的】当院において手術、薬物療法、放射線療法を施行した乳癌患者のデータを収集し、後方視的(後から振り返って)に検討することを目的とします。

【方法】病理組織学的に乳癌と診断され、2010年4月1日～2027年12月31日に昭和大学病院で手術療法・薬物療法・放射線療法ないし経過観察が実施された全症例を対象にします。評価項目として下記3.の項目を設定します。これらは診療録記載を元に評価し、各臨床病理学的因子の相関関係、再発率、生存率に与える各臨床病理学的因子の探索を適切な統計学的手法を用いて行っていきます。

研究期間

医学研究科人を対象とする研究等に関する倫理委員会（現：昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会）審査後、実施医療機関の長による研究実施許可を得てから2028年3月31日までです。

3．研究に用いる試料・情報の種類

年齢、家族歴、既往歴、手術所見、画像所見(マンモグラフィ、その他のX線検査、CT、MRI、エコー検査)、針生検、細胞診、手術標本の病理結果、術前術後の薬物療法の有無とその内容、放射線治療の有無と内容、その効果、予後

4．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画及び関連資料を閲覧することが出来ます。また、試料・情報を当該研究に用いることについて患者さん、または代理人の方にご了承頂けない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院（医学部外科学講座乳腺外科学部門） 氏名：吉沢 あゆは

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8000(代表)

研究責任者：

所属 昭和大学病院(医学部外科学講座乳腺外科学部門) 研究責任者： 林 直輝